Naked Wines、最大570万ポンドの自社株買いを提示 買付価格は27%のプレミアム

Naked Winesは最大570万ポンドの自社株買いを提示。年初来の取引は業績見通しに沿い、最終的な買付規模はクリスマス前の販売状況で決まる。

2026年11月7日（土）



Naked Winesは、200万～570万ポンドの自社株買いを通じて投資家に資金を還元する計画を明らかにした。また、11月6日（金）に公表した規制当局への提出書類で、当会計年度のこれまでの取引は通期目標に沿って推移していると発表した。

英国上場のオンラインワイン販売会社である同社は、テンダーオファーを通じて普通株式を1株80ペンスの固定価格で買い付ける方針だ。この価格は、11月5日（木）の終値である63ペンスを27%上回る。同社によると、最終的な買付規模は、年間業績を左右する最重要期であるクリスマス前の繁忙期の販売状況によって決まる。

Naked Winesは、買付額を最低約200万ポンドとし、最大で約570万ポンド、株数にして710万株まで拡大する可能性があるとした。これは自己株式を除く発行済み株式の約10.72％に相当する。取締役会は、株主がロンドンで開かれる臨時株主総会で計画の採決を行う12月8日に、最終的な買付株数を決定する見込みだ。取引の完了は12月16日を予定している。

同社は、キャッシュを継続的に生み出しており、株主に還元できる余剰資本があると判断したことから、テンダーオファー方式を選んだと説明した。また、今回の提案を決めるにあたり、株価を資本配分の基準に照らして検討したという。ネットキャッシュが会社予想の中間値と同水準、またはそれを上回る取引状況であれば、約570万ポンド相当の応募を受け入れる意向だ。ネットキャッシュが予想レンジの下半分にとどまる場合は、約400万ポンドの自社株買いを目指すとしている。

テンダーオファーの発表にあわせ、Naked Winesは9月28日までの26週間を対象とする上半期決算の発表を12月11日に控え、未監査の取引状況も公表した。売上高は前年比で減少する見通しながら、通期では従来予想の1億5,800万～1億7,500万ポンドに沿って推移しているという。調整後EBITDAの760万～900万ポンドという予想と、リース負債を除くネットキャッシュの3,400万～4,200万ポンドという予想も据え置いた。同社によると、ネットキャッシュの見通しは今回のテンダーオファー実施前の数値であり、自社株買いの完了後に調整される。

今回の発表では、新規顧客の獲得が低調な一方で、事業モデルの収益性が改善していることが示された。Naked Winesは、獲得した顧客の質が高まっており、顧客獲得費用の回収期間も目標とする24カ月に近づいているとした。会員の継続率は前年の76％から79％に上昇し、値上げが寄与して粗利益率も19.5％から21.7％に改善した。リース負債を除くネットキャッシュは上半期末時点で3,400万ポンドとなり、前会計年度末の3,340万ポンドから増加した。同社が、年末商戦を前にした通常の在庫積み増しがあったと説明するなかでの増加となった。

これらの数字は、1社の株主還元策にとどまらない意味を持つ。Naked Winesは消費者への直接販売モデルを展開し、独立系ワイン生産者に前払いで資金を提供しているため、顧客継続率、利益率、キャッシュの動向は飲料業界全体にとって有用な指標となる。需要が弱含む環境でも、利益率の向上とリピート購入の増加によって、オンラインのプレミアムワイン販売の収益性がなお改善し得ることがうかがえる。一方、新規顧客数の拡大に引き続き慎重な姿勢を示していることは、成長機会を選別している状況を示している。

同社はまた、英国の買収規則に基づき、テンダーオファーに伴う株主構成の変化を管理する措置も明らかにした。共同歩調を取っているとみなされる株主グループは、現在、議決権の約28.09％を保有している。Naked Winesによると、Chapters Group AGと、Truffle Fundの運用者であるMonega Kapitalanlagegesellschaft mbHは、それぞれ基本割当分以上の株式を応募することに合意した。これにより、取引後もグループ全体の議決権比率を30％の基準未満である約29.94％に抑え、Takeover CodeのRule 9に基づく適用除外の申請を不要とする狙いだ。

Naked Winesによると、社外取締役の一人でChapters Group AGの最高経営責任者でもあるJan-Hendrik Mohrは、テンダーオファーに関する取締役会の議論に参加した。ただし、同社との関係を理由に、買付規模と買付価格の決定からは除外された。取締役会は、テンダーオファーと関連する自社株買いが会社および株主全体の最善の利益にかなうと考えており、実施に必要な決議案に賛成票を投じるよう投資家に推奨している。

オファーの全条件を記載した文書は11月6日（金）に株主へ送付され、同社ウェブサイトにも掲載される予定だった。臨時株主総会は12月8日、ロンドンにあるPanmure Liberumのオフィスで開催される予定だ。テンダーオファーの応募締め切りは12月10日で、結果は12月11日に発表される見込み。Naked Winesは、上半期決算の発表後となる12月15日に投資家向け説明会を開催することも明らかにした。